

『後世に残したいラオスの伝統と文化』

キンナリー・サイダラースック
チャンパサック県 ポンサイ高校



どの国も自国の文化を持っているのと同様に、ラオスも自分たち独自の豊かで美しい文化を持っています。私はラオス人学生の一人として、先祖が築き上げ、子孫がその意志を受け継ぎ、継承してきたラオスの文化慣習を賞賛したいと思います。また、このラオスの文化を後世に残すことは、地球上に残すことと同じことなのです。

ラオスの文化は本当に豊かで美しく、装いは言うまでもなく、暮らし方にも本当に独自のものがあり、私は、これらの美しさに夢中になっています。私の学校では様々な踊りの活動があり、私もその活動に参加していますが、初めの頃はラオスの文化慣習をよく理解できませんでした。しかし、本物に出会った時、私は、私達の国ラオスが外観だけではなく精神的にも美しいものを持っていることを知り、最高の喜びと嬉しさを感じました。私は、学校の舞踊祭に参加し、私達の文化の美しさを最大限に知ってもらうために一生懸命踊りました。

また、お祭の時には、お年寄りも若者もお寺にお供えをもってお参りに行きます。私はこの寄進するという事に特別な関心を持っています。年寄り若者を問わずラオス人は全員、みんなが誇る美しいラオスの儀式に関心を寄せています。お祭に来ている外国人や観光客を見ると、私はラオス人に生まれたことを本当に誇りに思うのです。私の村の新年祭では、みんなが喜んで新年を祝い、私もみんなと一緒に参りをします。私は、母からお寺にお参りする時にはきちんとした服装で無償の心をもって行くように教えられ、小さい頃から母の教えを守ってきました。

また全ての場所を覚えてはいませんが、ラオスには、独自の美しさを持った様々な素晴らしい文明の遺跡があります。私の村は、チャンパーサック県パークセー郡にあります。私の住む県には、非常に有名な古い文化遺跡であるチャンパーサック・ワット・プー（注：ワットプー：アンコール時代の遺跡）があり、県に来る機会のある観光客は誰もが、世界遺産であるこのワット・プー遺跡を訪れます。

また、私の住む県以外にもラオスには様々な文化遺跡があります。例えば、首都ビエンチャンには、人々が生活している中心地に巨大なタートルアン寺があります。この大きなタートルアンは、まるでビエンチャンの人々の活動や暮らし方を見守っているようです。ビエンチャンの人々だけではなくラオスの人々を見守っているのだと思います。今回、首都を見学しましたが、ずっと訪れたいと夢見ていたのが、素晴らしいパトゥー・サイ（凱旋門）です。

これらは、ラオス人の心が集まっている私達の文化のほんの少しの紹介に過ぎませんが、この他にも、作法の中に見られるような大切な慣習があります。ラオス人である私は、自分の国の文化をより深く知り、本当の国の在り方を若い世代が考えることができるように守っていかねばならないと考えており、私はこのような慣習をもっと学びたいと思っています。ラオスの人々がラオスの文化を後世に残すには、将来を担う生徒や学生達に、助け合ってラオスの文化をずっと守っていくよう呼びかけ、みんなが一緒になって、自分達の国にとって相応しい方向を考え、模索していくことが必要だと思います。なぜならば、発展した国家は、次のような詩にあるように知識のある人によって造られるからです。

「国の進歩は良識ある人にかかっている
母国の発展は知識ある人次第である
愚かな青年は町を森に変えてしまう
国が発展できなかつたら誰に頼るのだろうか」

これは私達に、国の発展、進歩は、国家の未来を導く（ろうそくの）灯である知識ある人にかかっているということを教えています。平穏な暮らしを与え、支えてくれている国家の多大な恩恵に対し、その国に生まれてきた者は恩返しをしなければなりません。それは、私達の国のために、共に学び、素晴らしい功績を挙げることなのです。だから私も、私の国を近代的な発展した国にするために、高い能力を持った者になるよう学ばなければなりません。

反対に私達が共に知識を探究しなかったら、文化を捨ててしまい守ろうとしなかったら、私達の文化は尊厳を無くし、みんな見向きもしなくなるでしょう。その結果として私達の文化はもったいないことに社会から姿を消していきます。もし私達の文化が消えてしまったらラオス人はどんな意味をもつのか、一緒に考えてみて欲しいと知識ある人たちにお願いします。ラオス人である意味は、古い文化からもたらされる素晴らしい利益や価値にあるのです。

私は、ラオスの文化を誇りに思っていますが、これ以外に、私が長い間知りたいと願ってきた文化に「日出づる国」の文化があります。「日出づる国」とは日本のことですが、日本は国としての素晴らしい伝統文化を持っており、私達の心を捉える踊りや歌があります。また、ラオスと大きな違いが見られることから、日本の文化に触れ、文化の知識を交換する機会があることを願っています。私達ラオスの美しい文化を日本人に広く知ってもらい、お互いの結びつきを強いものにしたいのです。

また日本の文化以外に、私は、日本の経済や日本人の生活を知ることが夢見ています。なぜならば、日本は、もっとも優れた近代的な科学や学術的知識、テクノロジーを持っており、それらは私をわくわくさせ、経験したいと思わせるからです。また、日本人は困難な状態にある人を思いやりや愛情、団結をもって支援しており、この思いやりが、より日本に行きたいと私を駆り立てるのです。日本が発展した近代的な国であるというのは明らかです。

ラオス人は、みんなが一緒になって、ラオスを「日出づる国」のように豊かにするために心して学ばなければなりません。私達の国の進歩は、若者や学生に託されているのですから、自分達の生まれた国を発展させるためにも一緒に知識を探究し、豊かな文化を忘れずに、後世のラオス人がいつまでも文化の豊かさを享受し、ラオス人と共にずっと在り続けるように一緒に守っていかねばならないと思います。

ラオス人と共に大昔から生きてきた独自の美しさを持っている私達ラオスの文化は、後の世代がもっと深く研究し、知識を探究してくれること、助け合って守ってくれることを待っているのです。ラオスの学生、若者の一人として、自分自身の明るい未来のために、友達や子供達、青年達と共に学び研究しようと呼びかけたいのです。これは国家がラオスの文化を後世に残すために文化を守り、築いて行くことと同じだと思います。私は国のために、良識ある者になるよう知識を探究する努力をしています。